

JAL愛媛原告を支える会



ニュース



発行：JAL不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会
 連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
 松山市三番町8-10-2 Tel 089-945-4526



四国八十八カ所ならぬ

支援要請五十五カ所

松山市出身
 原告 林 惠美

前回は山陽キャラバンの報告を乗務員不足の為キャンセルをしました。今回は、9月17日と過去にはなかった理由が流さ20日で四国4県を訪問した四国キャラバンの報告をします。

前日の台風一過で抜けるような青空のもと、愛媛原告団3人は意気揚々と始発バスで徳島へ。東京から始発便で徳島へ来るはずだったパイロット原告事務局長の機長は、前日の台風の余波で便がキャンセルになり、午前中の取り組みには間に合わないとの連絡が入る。波乱の幕開けを予感させた。(携帯で運航情報を調べると「台風の乱れによる乗務員不足の為キャンセル」と過去にはなかった理由が流さ

20日でも労働局へ「LLO勧告を遵守する要請から始めた。香川で忘れられないのは、過日、県労連大会で報告された「大島青松園」の事。80才を超える元患者の方々がせめて余生を過ごしたいと願っている園に抗議し高齢の入園者がハンストをしていると。国の間違った隔離政策で人生を狂わされた人々に未だこのような仕打ちを

徳島では、7月3日に結成された「JAL闘争を支援する徳島の会」の仲間と、いつも支援してくれている県労連の協力で職員削減提案がされた。それで、無事全ての取り組みを終えることが出来た。県労連では、私達の解雇の翌年2月、空港でピラマキをしてくれたこの人々に未だこのような仕打ちを

闘う仲間の連帯に感動。空する、(裏面に続く)

「好きな会社の好きな仕事」に戻るまで ともに頑張りましょう

元周桑病院原告団 佐伯信雄

語り、又、別の原告は、不当解雇闘争をたたかう中で、今までにはなかった人間関係や感情が生まれ、支援して下さる多くの人達とのつながりの大切さを話していました。

それは、私たち元周桑病院の原告も同じで、不当解雇のたたかいの中で人の温かさを感じ、労働運動の大切さや人との強いきずなを感じています。はじめは、ただ怒りだけの感情でしたが、長く厳しいたたかいの中で、支援していただいている多くの入達や元の職場の同僚、原告団の仲間と、人としてのふれあいが生まれました。そしてそれは、何ものにも替えがたい大きな宝となっています。

秋の夜空を見あげれば、時おり飛行機の明かりが見えます。そんな大空に再び飛び立ち、「好きな会社の好きな仕事」に戻るまで、共に頑張りましょう。

私も 応援します

JALの不当解雇を聞いた時、会社幹部の経営失敗を棚に上げ、再建のために現場で長年働いてきたベテラン社員を整理解雇するやり方に強い怒りを感じました。同時に、国民的な力で、解雇された全員を再び「大空に飛び立たせたい」と思いました。

愛媛のJAL原告には、私たちの裁判にいつも支援に来てもらい、傍聴席から応援をもらっています。又、各地で行われているオルグの場では、会場中にパワーを与えるような力強いスピーチや手慣れた対応を見聞きし、それらすべてが長年働いてきたJAL職場で身についたものと感じています。

ベテランのパイロットや客室乗務員を解雇してまで行う経営再建は、どうしても受け入れられないでしょう。

あるJAL原告は、「いまでも会社が好きです。そんな会社に戻りたいです。」と

JAL不当解雇撤回 高裁勝利！早期解決をめざす

10.25大集会へのメッセージ

JAL不当解雇撤回、高裁勝利！早期解決をめざす10.25大集会参加の皆さんに、連帯と激励のメッセージを送ります。

安倍政権は、参院選後、消費税増税、社会保障の大改悪、雇用のルール破壊、原発推進、TPP推進、憲法改定と集団的自衛権の行使、米軍基地強化など、あらゆる分野で暴走をはじめています。こうした中でも、私たちは、とりわけ雇用のルール破壊の策動に危機感を高めています。彼らは、「雇用の拡大や賃上げ」まで公言してアベノミクスへの期待をおっていますが、その実態は、ブラック企業の放任や、「日雇い派遣」の解禁まで含む派遣法改悪推進などで、まさに、雇用破壊、解雇自由の推進そのものです。

現在、みなさんがたたかわれているJALの不当解雇も、こうした策謀の先鞭として行われたことは歴然で、現在進行中の裁判でも、すでにその真相が明らかにされています。私たちは、このたたかいで、ルールを無視した解雇を明確に断罪し、二度と彼らがこうした手段を取り得ないよう包囲・監視しなければならぬと考えています。

みなさんのたたかいは、今日の日本の雇用破壊・解雇自由の推進への反撃の先頭に立つもので、すべての労働者の要求とたたかいを代表するものです。私たちは、こうしたたたかいに奮闘する、愛媛出身の客室乗務員原告を支えるために結成された地方の会ですが、みなさんとともに、勝利の日まで奮闘する決意です。

JAL不当解雇撤回と、10.25大集会に結集されたみなさんのたたかいが前進することを期待し、連帯のメッセージとします。

2013年10月25日

JAL不当解雇撤回とたたかう愛媛原告を支える会

JAL不当解雇撤回をめざす 四国キャラバン 愛媛集会



JALの不当解雇撤回をめざして取り組まれた四国キャラバン。その締めくくりとして、20日夕方、四国キャラバン愛媛集会が松山市内のコムズで行われました。集会には約60名が参加。

挨拶と報告に立ったパイロット原告団長の山口宏弥さんは、「安倍内閣は、日本を企業が世界一活動しやすい国にすると言っている。労働組合をつぶすことで解雇自由を狙っており、それを許さないため、勝利するまでたたかう」と決意を表明しました。

愛媛出身の原告3名は、キャラバンの疲れも見せず、それぞれに力強く訴えを行いました。

伊方町出身の原告二宮斉子さんは、不誠実な団体交渉の翌日、「断腸の思い」「誠心誠意組合と話し合っている」という記者会見を見て、退職をやめたたたかうことを決意したと、不誠実な会社の姿勢を批判しました。

最後に、参加者全員が「あの空へ帰ろう」を合唱し、たたかう決意を固めました。

原告の皆さん、本当にお疲れ様でした。

この国の人権感覚は到底先進国とは呼べない低レベルではないか。支援要請活動は、この国のあり方をも教えてくれる。最終バスで高知へ入る。

3日目は、労働局要請のあとパイロット原告が団長へ交代。空港から「日航は不当解雇を撤回せよ」のオレンジ色の襷をしていったと、同じ飛行機に乗り合

わせていた支援者に感心された。2組に別れ22カ所を回り、まとめの報告集会まで何とかがやり終えた。高知は木曜市前で街宣したが、ピラの受け取りが日本一？と思うほど良かった。「市」を立てている人にもピラを配ったが、沢山の人が励ましてくれた。さすが自由民権運動発祥の地。翌朝最終日の愛媛へ戻る。市駅前です。いつもの仲間が迎えてく

(了)